

□議員名：河野朋子

1 審議会のあり方について

論点	市の審議会の委員について重複が多い。公募委員については1人で10の審議会に応募して委員となっているが、問題はないか。
回答	1人の方が幾つもの審議会等に任命されるということは、多様な意見を求めるという観点からは好ましくないと思っている。今後は他市の取り組みなど研究していきたい。

2 観光振興ビジョンについて

論点	観光振興ビジョンの検討委員会が設置されている。委員の選定基準はどのようになっているか。
回答	観光懇話会からの提言をビジョンの策定に反映するため、検討委員会の委員は観光懇話会の委員から市長が選任する旨を要綱に定めている。

論点	「多様な意見を反映する」観点から疑問を感じるが、同じメンバーでないといけない理由があるのか。
回答	懇話会のメンバーと同じでないといけないということはない。懇話会の提言を十分に生かしていこうということで同じ人を選んだということだ。

論点	検討委員会の委員長は水道事業管理者だが、これは行政主導と言われても仕方がないと思うがいかがか。
回答	観光協会の会長が選任され、たまたまそれが水道事業管理者であったということでそこまでは考えていなかった。

論点	水道事業管理者は観光協会の会長を兼任していて問題だと思うが、任命権者として市長はどのように考えるか。
回答	余裕のある職員には、いろんなことについて市政運営の一翼を担ってほしい。庁議などで議題となった時には水道事業管理者には退室してもらおうか、発言を禁止する。

### 3 多様な意見の反映について

論点	若者の声を聞く場の設定について、本市はどのように考えているのか。
回答	市誕生10周年記念事業ユース会議や第6回現代ガラス展について、委員の年齢等にも基準を設け、若い年齢層の声を聞く機会を設けている。

論点	今後、対話の日を活用するなど、新たな場の設定を考えているのか。
回答	対話の日の定例開催は、平成17年度から平成24年度まで市内を一巡したため現在は行っていない。申し出に応じて臨時開催の対応を継続して行う。